



▲イベント会場から一斉に離陸する熱気球

第42回 北海道バルーンフェスティバル

8/7^金~9^日

奈良女子大学気球部が初優勝！

8月7日(金)〜9日(日)の3日間にわたり、第42回北海道バルーンフェスティバルが開催されました。3日間を通してあいにくの空模様でしたが、駆けつけていただいた熱気球チームのみなさま、会場に足を運んでいただいたお客さま、また遠く全国からこのフェスティバルを応援していただいたみなさまの熱意で次第に天候は回復し、競技・会場イベント共に盛会に終了することができました。

競技フライトでは、7つのタスク(競技)が行われ、各チームは広大な北海道上士幌町の空を楽しみながら、熱いフライトが繰り広げられました。

総合優勝を飾ったのは、奈良県から参加の「奈良女子大学気球部」さんで、パイロットを務めた真茅英美さん(20)をはじめ14人で競技に臨み、女子チームとしては初の総合優勝を果たしました。

▲離陸後、風に乗り目指すポイントへ向かう熱気球 ▲球皮内の空気をバーナーで温めて立ち上げます





競技フライト総合順位



▲総合優勝を果たした「奈良女子大学気球部」

順位	チーム名
1	奈良女子大学気球部
2	大平原BC
2	チーム雪の舞A
4	ガッツバルーンチーム
5	京大飛翔会M
6	ソルティドックス
6	宮崎大学気球部
6	立命館BGダンテライオン
6	上土幌町青空工房

【優勝インタビュー】

～奈良女子大学気球部 パイロット 真茅英美さん～

- Q. 総合優勝したお気持ちはいかがですか？
- A. まさか優勝するとは思わなかったので、びっくりです！
(※真茅さんは5月にパイロット免許を取得したばかりで、パイロットとして公式大会初参加で初優勝とのこと)
- Q. 勝因は何だったと思いますか？
- A. 高さを上手く調節でき、ゆっくりとゴールエリアへ入れたことですね。特に、「パイロット・ディクレアード・ゴール」が上手くできました。
- Q. 賞品の使い道を教えてください。
- A. チームのみんなで山分けします。お菓子は打ち上げで食べます(笑)
- Q. 今後の抱負を聞かせてください。
- A. さらに経験を積んで琵琶湖の大会など、いろいろな大会に出られるようになりたいです。



▲夜空に熱気球が幻想的に浮かび上がる「バルーンゲロー」



▲バルーン商店街はたくさんの人で大賑わい



▲会場に遊びに来てくれた「ほろんちゃん」と「バルーン君」は、子どもたちに大人気



▲陸上自衛隊第5音楽隊～大人の方には素敵な演奏を、子どもたちとは歌って踊って



▲来場されたお客さまは「熱気球体験搭乗」で、気球からの眺めを楽しんでいました

各種イベントで 会場は大盛會に

イベント会場ではバルーン商店街が開店。上土幌町をはじめ、十勝管内の美味しい食べ物や特産品が揃いました。また、熱気球体験搭乗では、熱気球からの景色をひと目見ようと、たくさんの方々が列を作りました。

会場には特設ステージが設けられ、網走市出身の演歌歌手、裕介さんのライブコンサート、陸上自衛隊第5音楽隊や上土幌中学校・上土幌高校吹奏楽部による演奏が行われ、会場は素晴らしい歌声や音色に包まれました。

大型風船遊具で楽しめる「ふわふわランド」や、アンパンマンショーに子どもたちも大興奮。その他、会場ではさまざまなイベントが行われ、来場されたお客さまに上土幌町の夏のひと時を楽しんでいただきました。

この度のバルーンフェスティバルを通して、多くの方のご協力、ご支援をいただき、関係者並びに町民のみなさまに厚くお礼申しあげます。